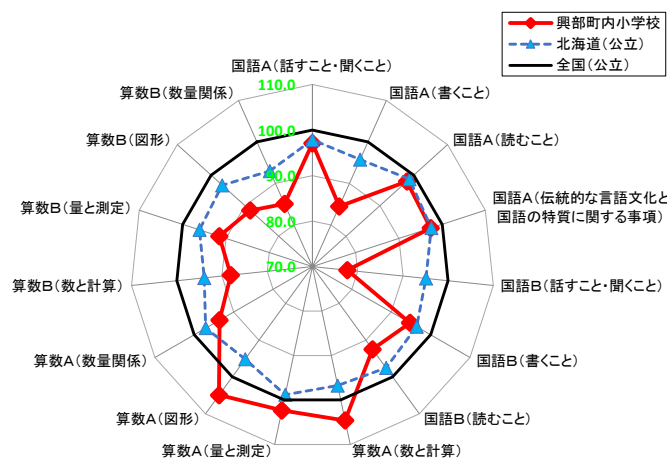


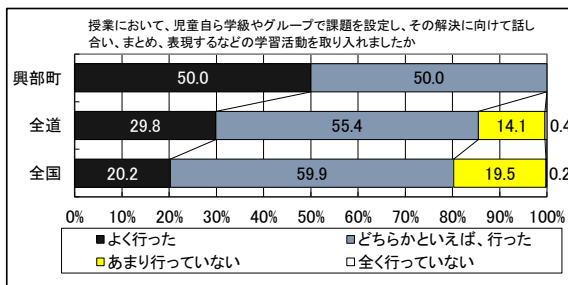
■興部町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:2、児童数:26名)

【教科全体の状況】

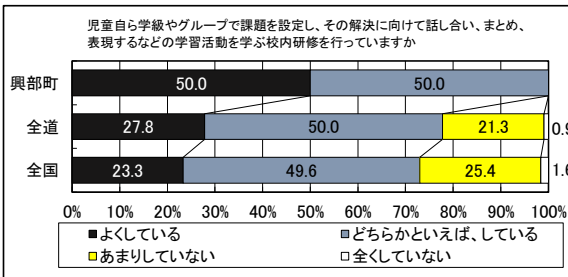
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
 (市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



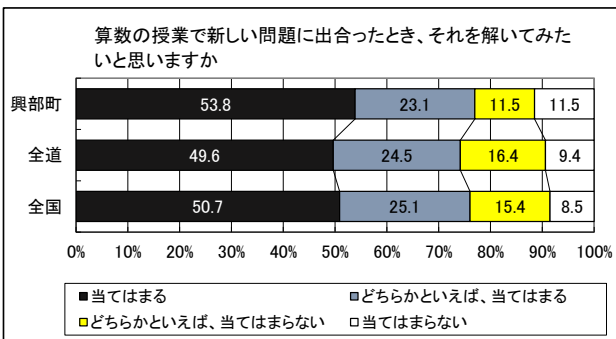
【学校質問紙調査】



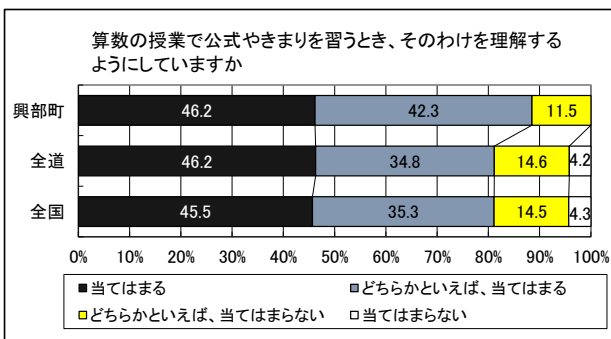
【学校質問紙調査】



【児童質問紙調査】



【児童質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Aでは、「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で、全道とほぼ同様になっている。 ○ 算数Aでは、「数と計算」「量と測定」「図形」で、全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現などの学習活動を取り入れたことにより、学習意欲が高まり、算数の学習内容の定着につながったと考えられる。
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたいと思う」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 ○ 「算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしている」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 	
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「授業において、児童自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現などの学習活動を取り入れた」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「児童自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現などの学習活動を学ぶ校内研修を行っている」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 	

【興部町の学力向上策】

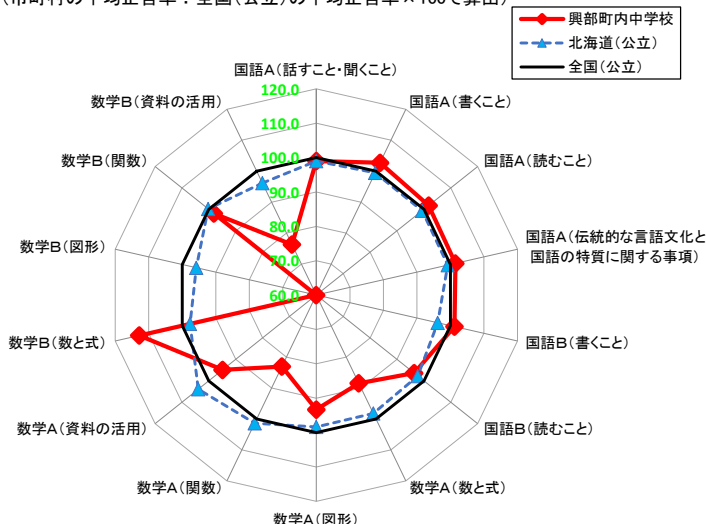
- ◎ 町の臨時教員の雇用による複式学級の解消と学力の維持向上
- ◎ 学生ボランティアを活用した補充的な学習サポートの実施
- ◎ 「家庭学習の手引き」を活用した家庭での学習習慣の確立
- ◎ 知能検査や標準学力検査の実施による学習状況の把握と個に応じた指導の充実

■興部町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:2、生徒数:35名)

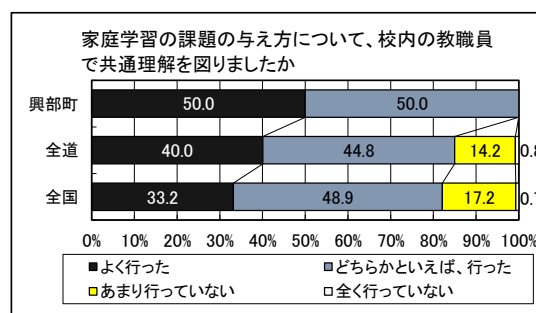
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

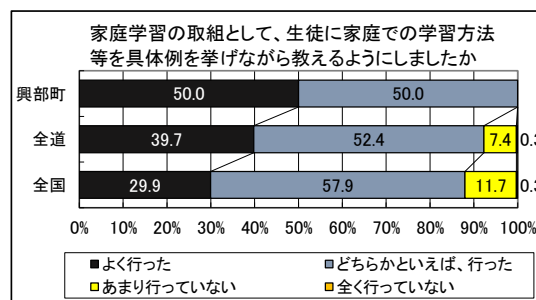
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



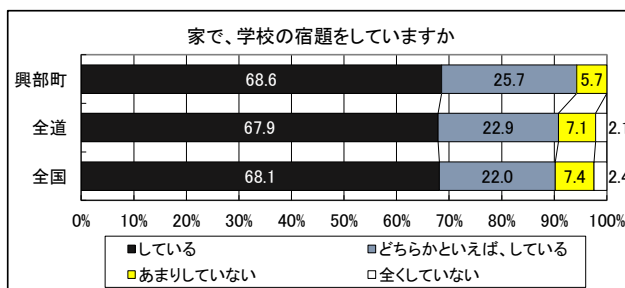
【学校質問紙調査】



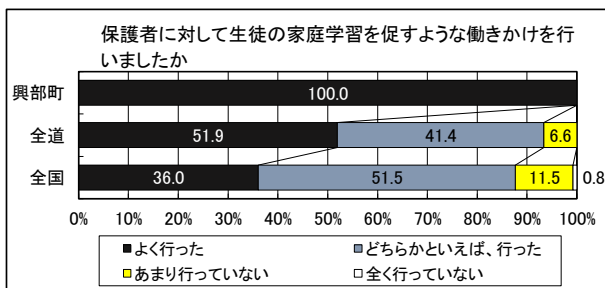
【学校質問紙調査】



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Aでは、「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、国語Bでは、「書くこと」で、全国を上回っている。 ○ 数学Bでは、「数と式」で、全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校が家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図り、生徒に家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えたり、保護者に対して生徒の家庭学習を促すような働きかけを行ったりすることにより、家庭での学習習慣が身に付いたと考えられる。
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「家で、学校の宿題をしている」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 	
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図っている」「家庭学習の取組として、生徒に家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えている」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ すべての学校が「保護者に対して生徒の家庭学習を促すような働きかけを行った」と回答している。 	

【興部町の学力向上策】

- ◎ 学生ボランティアを活用した補足的な学習サポートの実施
- ◎ 「家庭学習の手引き」を活用した家庭での学習習慣の確立
- ◎ 知能検査や標準学力検査の実施による学習状況の把握と個に応じた指導の充実